

ESDマッチングサイト事業

■社会的背景

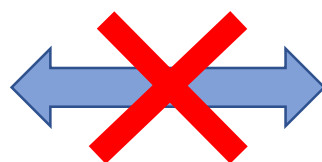
- ・SDG'sなどの新たな概念の浮上
- ・ESD（持続可能な社会づくりの担い手を育成するための教育）促進強化
- ・教員負担 増
- ・学校外の人材起用ニーズ 増

■現状（学校現場）

- ・教員余力不足
- ・学校外の人材起用には、選出・信用調査・協力交渉など、かなりの労力がかかる。
- 結果、学校外部の人材起用を断念。
- ESDの質は現状維持



マッチング不十分



■現状（民間）

- ・SDG'sを含め、各分野の専門家、活動団体は豊富に存在
- ・社会貢献活動を望む団体・人材多数



○マッチング機会の増加



○ESDの質の向上



ESDマッチングサイト



- ・利便性追求
- ・オーダーメイドなマッチングサービス（人材選定・信用調査・協力依頼交渉etc）

Do Up!



CFT (仮) project / Cheer for teacher in our town !

■教員からの要望に対応

「こんな教材がほしい！」
「時間がないので作れない」



①HELP!

②教材要望

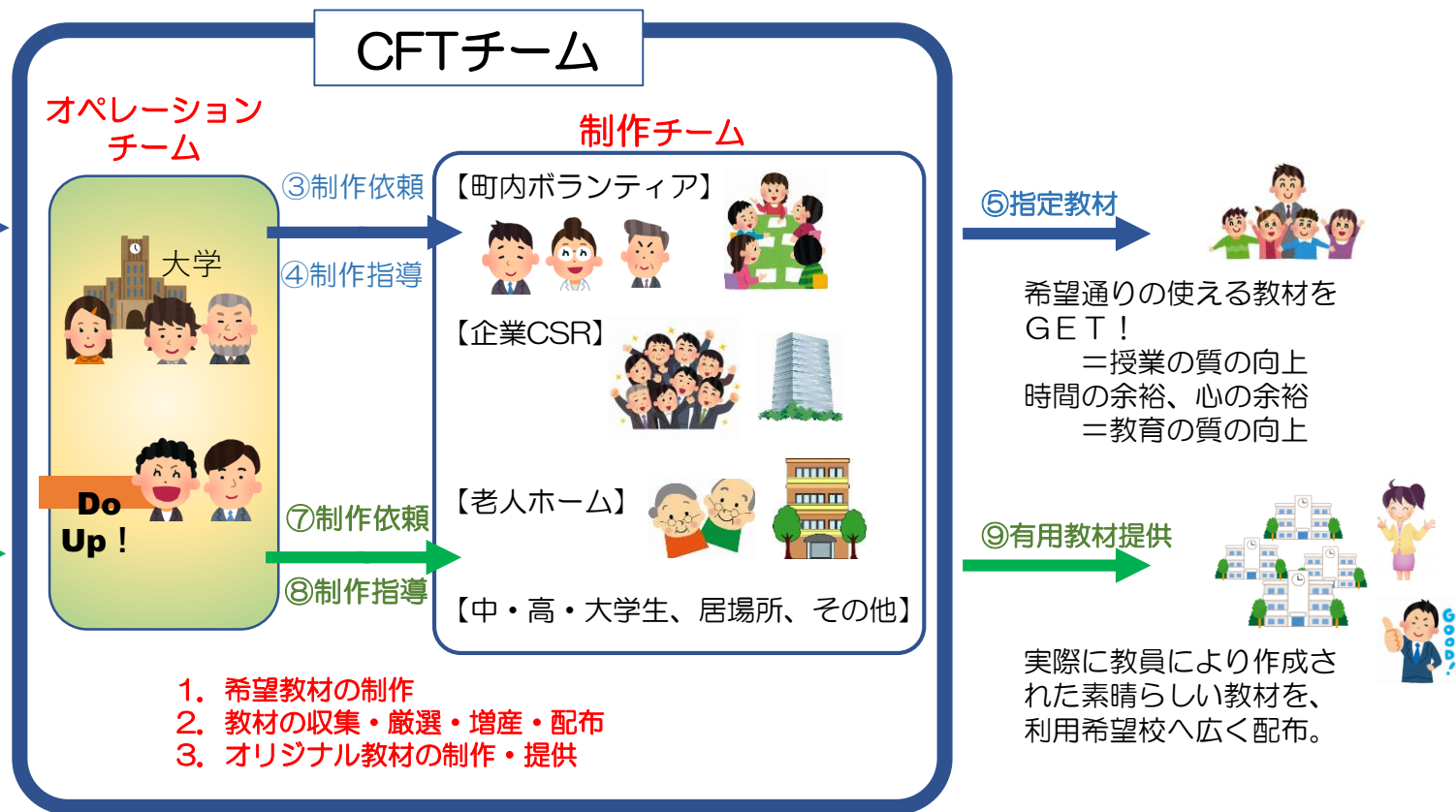
■眠れる教材の有効活用

リサイクル・紹介・量産提供

「捨てるのはもったいない。誰かに使ってもらえないか…」

⑥教材提供

「この教材は毎回ウケなあ」



【今後の必須項目と課題】

■窓口

- ・教員との窓口をどうするか
 - ・要 HPの制作
 - ・要 HP告知
- ・要 教員要望ヒアリングと打ち合わせ
 - ・誰が、どこで

■制作チームの構築

- ・趣旨を理解した賛同者を募る
- ・誰が、誰を

■教材制作作業の一般化（分担化）

- ・誰もが簡単に行える作業にする
- ・毎回異なる作業となる

■経費をどうするか

- ・HP制作費→当面自作
- ・人件費→基本ボランティアベース
- ・教材材料費
- ・交通費
- ・教材送料 など